

第1節 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画掲載内容		20年度の取り組み及び実績	20年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課 (平成20年6月 30日まで)	担当課 (平成20年7月 1日以降)
	事業	今後の計画・方向性				
29	育児相談	乳幼児の育児・しつけ・発達・保健などの相談窓口として、電話・面接による相談事業を実施しています。今後も市民への周知を図り、利用しやすい窓口になるよう努めます。	電話・面接による乳幼児の育児・しつけ・発達・保健（予防接種等）の相談。 電話による相談 3,820件、面接による相談 1,225件	継続して実施する。	保健医療課	保健医療課
29			4地域子育て支援センターでの相談 延べ543件	相談内容によっては、専門的な機関につなぐ等関係機関と連携をとりながら、継続して実施する。	子育て支援課	子育て支援課
29	電話育児相談	保育の専門機能を活用して、乳幼児の育児・しつけ・発達などの相談を保育所で継続して対応するとともに、相談員の資質の向上を図ります。	平成20年度より、地域子育て支援センターでは電話での相談は業務見直しにより廃止し、子育て支援総合センターが相談窓口となっている。	—	子育て支援課	子育て支援課
29	栄養相談	保健医療センターにおいて、乳幼児期の食事と栄養等についての正しい知識の普及に努めつつ、利用しやすい窓口となるよう充実に努め、継続して市民への周知を図ります。	乳幼児をもつ保護者に対する、乳幼児期の食事と栄養についての相談（要予約）を保健医療センターで実施した。 年24回 3件	継続して実施する。	保健医療課	保健医療課
30	子育て相談	健康増進センターでは随時子育てに関する相談を受けており、幼稚園での園舎・園庭開放時にも「子育て相談」を公立幼稚園で実施しています。男女共生センター ローズWAMでは、男女共同参画の視点からも、子育てに関するさまざまな悩みについて、面接及び電話相談を実施しています。相談を進める中で、DVや児童虐待、女性としての生き方の悩みなど相談内容がさまざまな領域に広がる場合もあることから、他の相談員との連携を深めるとともに、関係機関との連携を深めます。	乳幼児の保護者に対する子育てに関する相談。 電話による相談 966件、面接による相談 46件	最適な時期に相談できるように継続して実施する。	保健医療課	保健医療課
30			0～18歳の子どもを持つ保護者を対象に「子どもに関する相談」及び「子どもに関する面接相談」を実施。	引き続き、相談しやすい体制の強化に努める。	男女共同参画課	男女共同参画課

第1節 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画掲載内容		20年度の取り組み及び実績	20年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課 (平成20年6月 30日まで)	担当課 (平成20年7月 1日以降)
	事業	今後の計画・方向性				
30	子育て相談	健康増進センターでは随時子育てに関する相談を受けており、幼稚園での園舎・園庭開放時にも「子育て相談」を公立幼稚園で実施しています。男女共生センター ローズWAMでは、男女共同参画の視点からも、子育てに関するさまざまな悩みについて、面接及び電話相談を実施しています。相談を進める中で、DVや児童虐待、女性としての生き方の悩みなど相談内容がさまざまな領域に広がる場合もあることから、他の相談員との連携を深めるとともに、関係機関との連携を深めます。	電話相談 391件、面接相談 208件	11月より「こども相談室」を立ち上げたことにより、今後は子育て相談の対象年齢を検討し、充実を図るとともに、継続して実施していく。	子育て支援課	子育て支援課
30			市立14園で毎月第2・第4水曜日で、午前中子育て相談室を開設。 相談件数 延べ36件	継続して実施する。	教育総務課	教育政策課
30	教育相談 電話教育相談	児童、生徒の学習、性格、行動、身体、発達、進路等の教育に関する相談窓口として、電話・面接による相談事業を継続して実施します。市民への周知を図り、利用しやすい窓口として充実に努めます。	相談件数 延べ1,778件 電話相談件数 延べ146件 出張教育相談 延べ51件	市民からの相談受付後、迅速に対応できるように工夫する。また、必要に応じて、学校と連携を図り対応する。	教育研究所	教育研究所
30	「いじめ」ホッと電話相談	子どもへの周知を徹底し、利用しやすい窓口として充実を図り、継続していじめ問題の早期解決と解消に努めます。	相談件数 延べ74件	市民が利用しやすいように周知方法のさらなる工夫を図る。	教育研究所	教育研究所
30	適応指導教室「ふれあいルーム」	不登校の児童・生徒がカウンセリングや様々な活動を通し、自立できるよう支援します。今後も継続して実施します。	不登校児童・生徒を対象に、教科指導や体験学習を実施。訪問指導等の学生ボランティアの派遣 延べ1,041回 不登校教育相談 延べ216件	学校との連携を強めて、学校復帰を目指す取組の工夫を図る。入級生の個に応じたカリキュラムの工夫改善を図る。	教育研究所	教育研究所
30	言語障害児教育相談「ことばの教室」	ことばの遅れ、吃音、言語障害などことばの問題についての相談・指導を継続して実施します。関連機関との連携の強化を図り、指導効果を高めていきます。	相談件数 延べ791件	関連した相談機関との連携を図り、本事業を効果的に実施する。	教育研究所	教育研究所

第1節 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画掲載内容		20年度の取り組み及び実績	20年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課 (平成20年6月 30日まで)	担当課 (平成20年7月 1日以降)
	事業	今後の計画・方向性				
30	女性のための各種相談	女性が抱える悩みや不安等女性全般に関わる相談に幅広く対応できる窓口として、女性相談、DV相談、法律相談等の相談業務の充実を図るとともに、関係機関との連携を深めます。	女性を対象に、各種相談業務を実施した。 女性・電話・DV・法律相談等 相談件数 1,381件	引き続き、個々の相談に応じるだけでなく、数多くの相談から見える課題を講座等の事業にいかす。	男女共同参画課	男女共同参画課
30	子育て相談	豊川・沢良宜・総持寺青少年センターでは、不登校、しつけ、子育てについての相談などについて、専門的な見地から指導に努めます。	豊川青少年センターでは、毎月第1木曜日を乳児・第2木曜日は幼児の保護者対象に「乳幼児相談会」を年間22回実施した。	子育て支援総合センター等の「子育て相談」を案内する。	青少年課	青少年課
30			沢良宜青少年センターでは、「もやもやすっきりステーション」という臨床心理士の先生による子育て相談の場を、年間11回実施した。			
30			総持寺青少年センターでは、「ふれあい子育てトーク」を年間10回実施し、保護者同士のつながりを大切に、子育ての悩みを解消する場を設けた。			
30	人権相談事業「人権ネットワーク事業」	豊川・沢良宜・総持寺いのち・愛・ゆめセンターでは、子どもが人権侵害を受け、または受ける恐れがある場合、より適切な対応ができるよう、関係機関と連携した相談体制の充実に努めます。	相談件数5件 (内訳) 労働に関係に関する人権問題3件 女性に関する人権問題2件 子どもに関する相談は0件	豊川・沢良宜・総持寺いのち・愛・ゆめセンターでは、子どもが人権侵害を受け、または受ける恐れがある場合、より適切な対応ができるよう、地域情報紙等を広報に活用し、身近な相談窓口としての周知に努めます。	豊川いのち・愛・ゆめセンター	豊川いのち・愛・ゆめセンター
30			人権相談件数 11件	継続して実施する。	沢良宜いのち・愛・ゆめセンター	沢良宜いのち・愛・ゆめセンター

第1節 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画掲載内容		20年度の取り組み及び実績	20年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課 (平成20年6月 30日まで)	担当課 (平成20年7月 1日以降)
	事業	今後の計画・方向性				
30	人権相談事業「人権ケースワーク事業」	豊川・沢良宜・総持寺いのち・愛・ゆめセンターでは、子どもが人権侵害を受け、または受ける恐れがある場合、より適切な対応ができるよう、関係機関と連携した相談体制の充実に努めます。	人権相談21件内、子供に関する相談4件 内容:保護者の監護における虐待(暴言3件、ネグレクト1件)	子どもの人権が尊重されるよう、地域住民への周知や相談に来ることができない人や地域から孤立している人を見逃さないよう身近な相談窓口であるよう心がける。	総持寺いのち・愛・ゆめセンター	総持寺いのち・愛・ゆめセンター
31	保育所地域開放「いっしょにあそぼう!!」	在宅の親子が、保育所の子どもたちや地域の人々と交流が図れるよう、継続して活動内容の充実に努めるとともに、市民への周知を図ります。	基本的に、各保育所で週1回「ともだち広場」を開催。	在宅で子育てをする保護者の中で、保育所へ来ることができない、閉じこもり傾向にある家庭への支援を図る。	児童福祉課	保育課
31	小学校庭・幼稚園庭の開放「こども広場」	地域の子どもたちの安全な遊び場を確保するために、利用団体間等との調整を図りながら、こども広場の運営を促進します。	31小学校 開設日数 1,011日、参加者 49,982人 13幼稚園 開設日数 208日、参加者 5,683人	子どもたちの安全な遊び場確保のため、小学校庭でのこども広場の必要性はあるが、放課後子ども教室との調整が必要である。	青少年課	青少年課
31	青少年センター土曜日子ども広場各種講座教室等	地域の子どもたちの学校外での生涯学習の場として開催します。子どもの自主性を尊重し、意欲を伸ばせるような内容を企画し、多くの子ども・保護者に周知を図ります。	上中条青少年センターでは、「子どもセミナー」として、工作など、年間12回実施した。また、「遊びの広場」として、低学年児童に居場所の提供を、年間9回実施した。	上中条青少年センター主催事業として、市内全域で土曜日講座・イベントを実施する。	青少年課	青少年課
31			豊川青少年センターでは、「絵画教室」「ヒップホップダンス教室」「料理教室」を通年講座として年間のべ103回実施した。また、「子どもセミナー」として、体験活動を年間83回実施した。また、「わくわくクラブ」として、低学年の居場所事業を年間45回実施した。			
31			沢良宜青少年センターでは、「絵画教室」「英語教室」を通年講座として、年間のべ56回実施した。また、「わくわくほけっと」として、体験活動を27回実施した。また、「ふれあいさわい」として、交流活動を年間22回実施した。			

第1節 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画掲載内容		20年度の取り組み及び実績	20年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課 (平成20年6月 30日まで)	担当課 (平成20年7月 1日以降)
	事業	今後の計画・方向性				
31	青少年センター土曜日 子ども広場各種講座教室等	地域の子どものたちの学校外での生涯学習の場として開催します。子どもの自主性を尊重し、意欲を伸ばせるような内容を企画し、多くの子ども・保護者に周知を図ります。	総持寺青少年センターでは、「絵画教室」「手芸教室」を通年講座として年間延べ46回実施した。また、「わくわくセミナー」として体験活動を年間45回実施した。また、「子ども広場」として、社会体験・生活体験の場づくりとして年間19回実施した。	上中条青少年センター主催事業として、市内全域で土曜日講座・イベントを実施する。	青少年課	青少年課
31	親子交流の場(つどいの 広場)	保育所や幼稚園に通っていない子どもと保護者が、気軽に集い、自由に遊べる場を整備するとともに、育児に必要な情報提供や相談を継続して実施します。	つどいの広場設置数12か所 年間利用人数 延べ83,727人	概ね中学校区に1か所設置できるように努力する。また、周知方法を工夫し、利用者増を図る。	子育て支援課	子育て支援課
31	男女共生センターローズ WAM「あそびの広場」	親子で自由に遊べる場の提供を行い、子どもや親の交流の場として市民への周知を図ります。	平成19年度で廃止。	—	男女共同参画課	男女共同参画課
31	地域子育て支援センター	子育て家庭の育児不安等の解消のために子育てに関する子育てマップや子育てハンドブック作成などによる情報提供、各関係機関と連携し、相談・指導・家庭訪問を行います。また、育児グループの育成を継続して実施します。	地域開放140回、子育て講座217組、親子育児教室430組	継続して実施し、地域へ出向いた子育て支援を積極的に行う。	子育て支援課	子育て支援課
31	ファミリー・サポート・センター 地域の子育て相互 援助事業	地域で育児の手助けをしてほしい依頼会員と手助けをする援助会員の相互援助活動(地域内育児支援事業)により、仕事と子育てが両立できるよう事業の充実をめざす。	市民を対象に、事業説明会・講習会を開催した。 説明会 43回 参加者 314人、講習会 21回 参加者 264人 会員を対象に、研修会・交流会を開催。 研修会 3回 参加者 80人、交流会 6回 参加者 196人 保育サポーター養成講座(21世紀職業財団との共催) 37人 参加のうち新たに援助会員18人登録。	広報活動(市内各施設での援助会員募集チラシの配架や自治会での回覧等)を実施するなど援助会員の確保に努めたが、今後も継続し実施する。	男女共同参画課	子育て支援課
31	育児ボランティア活動の 推進	保護者の勉強会や講習会等での保育、在宅育児支援など地域の実情に即した子育て支援を継続的に行うために、ボランティア団体との連携を図り、活動を推進します。	在宅でのボランティア活動 延べ日数 60日 活動延べ人数 67人 各種施設、関係機関、団体でのボランティア活動 延べ日数 249日 活動延べ人数 713人	在宅育児支援の需要が高まる中、効果的な支援を行うため、他機関との連携をさらに深める必要がある。	社会福祉協議会	社会福祉協議会

第1節 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画掲載内容		20年度の取り組み及び実績	20年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課 (平成20年6月 30日まで)	担当課 (平成20年7月 1日以降)
	事業	今後の計画・方向性				
31	地域育児サークルの育成	地域子育て支援センター等を拠点に各地域での育児サークルの育成や活動を継続して支援します。	4地域子育て支援センターでの支援したサークル数 延べ12件	各サークルは活動場所を探すのに苦慮していることが多いので、今後も活動場所の提供を積極的に実施し、サークル活動の活性化を支援していく。	子育て支援課	子育て支援課
31	民生委員・児童委員、主任児童委員活動	民生委員・児童委員、主任児童委員による児童に関する相談・指導助言等の活動を推進します。	民生委員・児童委員委員数(4月1日現在) 391(定数 400)人 相談・指導件数 2,716件 (内訳) 子育て・母子保健 300件、子どもの地域生活 1,443件、 子どもの教育・学校生活 973件	研修会等を通して、民生委員・児童委員、主任児童委員のさらなるスキルアップを図る。	福祉総務課	福祉政策課
32	子育て支援総合センターコーディネーターによるネットワークの構築	子育てに悩みをもつ保護者を支援し、安心して子育てができるよう、関係機関とネットワークの強化を図るとともに、専門機関や施設への紹介、子育てに役立つ情報の収集、関係指導者の専門性を高め、資質の向上を図るための研修会の開催などを実施し、総合的な子育て支援に努めます。	子育て支援総合センターの保育ボランティア及家庭訪問支援員を対象に資質向上のための研修を実施した。 人権研修2回、保育ボランティア研修7回、家庭訪問支援研修1回 地域での子育て支援のネットワークを構築するため、地区別1ブロックの子育て支援団体連絡会を実施した。 ブロック会議8回	保育ボランティア及び家庭訪問支援員の研修を継続して実施。地区別の子育て支援団体連絡会を順次開催していく。	子育て支援課	子育て支援課
32	乳幼児学級	乳幼児の心身の発達を支援するために、その発達に即した家庭教育のあり方を学習できるように、活動内容の充実を図ります。市民への周知を図り、家庭教育を推進します。	乳幼児学級(きらきクラス) 全5回開催 参加人数 延べ155人 乳幼児学級(のびのびクラス) 全5回開催 参加人数 延べ152人 乳幼児学級(すくすくクラス) 全5回開催 参加人数 延べ98人	21年度より事業廃止。	地域教育振興課	地域教育振興課
32	青少年センター子育て講座	幼児・児童・生徒をもつ親に対して、子育てと同時に親自身の親育ちとしても学習する機会を提供し、家庭教育力向上に努めます。	豊川青少年センターでは、「ママさん体操」を年間22回実施し、「よちよちクラブ」を年間40回実施し、就学前の子育てにかかわる保護者のかたに、子育ての悩みを解消する場を設けた。	子育てサークルの自主サークル化をすすめ、地域で子育ての輪を広げていけるようサポートする。	青少年課	青少年課
32			沢良宜青少年センターでは、登録制通年講座として「子育て支援親子教室」を年間28回実施、各回募集講座として「親子でほのぼののタイム」を年間18回実施し、子育ての悩みを解消する場を設けた。			

第1節 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画掲載内容		20年度の取り組み及び実績	20年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課 (平成20年6月 30日まで)	担当課 (平成20年7月 1日以降)
	事業	今後の計画・方向性				
32	青少年センター子育て講座	幼児・児童・生徒をもつ親に対して、子育てと同時に親自身の親育ちとしても学習する機会を提供し、家庭の教育力向上に努めます。	総持寺青少年センターでは「ビヨコクラブ」を年間登録制で年間18回実施し、子育ての悩みを解消する場を設けた。	子育てサークルの自主サークル化をすすめ、地域で子育ての輪を広げていけるようサポートする。	青少年課	青少年課
33	家庭教育学級	児童・生徒をもつ親に対して、家庭教育の重要性を再認識していただくとともに、必要な知識と技術について学習する機会の提供を行い、子どもの健全な育成を支援します。	市内31小学校 参加人数 979人	運営及び事業内容について、より効果的に実施できるよう指導する。	地域教育振興課	地域教育振興課
33	家庭教育学級指導者の研修	指導者の認識、資質の向上を図るために研修内容の充実と参加の促進に努めます。	開催回数 全3回 参加人数 延べ87人	家庭教育指導者研修は、対象者が特定されているため、研修内容、形式、講師の選定等をより効果的な研修成果を得られるよう工夫する。	地域教育振興課	地域教育振興課
33	保護者講座	保護者の育児等に関する疑問や悩みを解決する手助けとなる講座を開催します。	開催回数 全3回 参加人数 延べ144人	思春期の子どもを持つ親の不安や悩みに応じた講座を継続して実施する。	地域教育振興課	地域教育振興課
33	家庭教育セミナー	家庭教育ノート等に基づき、家庭において保護者が子どもに接する態度・方法などを学習し、家庭の教育力向上を支援します。	開催回数 全3回 参加人数 延べ64人	保護者のニーズに応じるため、場所及び実施方法について検討する。	地域教育振興課	地域教育振興課
33	お父さんといっしょにたのしく遊ぼう	1歳～就学前児童をもつ父親と子どもがリズム遊びや手遊び等で楽しく遊ぶ機会を提供しています。	1歳から就学前の子どもと保護者対象に「お父さんといっしょに楽しくあそぼう」を実施した。 開催回数 4回、参加者 保護者37人 子ども42人	男女共同参画の視点での子育て支援として取り組んでおり、今後も土曜日に開催し父親支援として位置づけ継続する。	男女共同参画課	男女共同参画課

第1節 すべての子育て家庭を支える環境づくり

計画書 掲載 ページ	茨木市次世代育成支援行動計画掲載内容		20年度の取り組み及び実績	20年度の事業課題及び今後の改善方法	担当課 (平成20年6月 30日まで)	担当課 (平成20年7月 1日以降)
	事業	今後の計画・方向性				
33	父と子の料理教室	料理をすることで父と子のコミュニケーションを図る機会の提供を継続して実施します。	市内の父親支援、子育て世代を対象に、『ふぁみりいだもの〜パパといっしょに体操しよう〜』ほかを開催した。 開催回数 6回、参加者 93人	親子やパートナーとのコミュニケーションの機会として有効。今後も、企画をはじめさまざまな点を工夫をしながら、実施する。	男女共同参画課	男女共同参画課
33	親子でたのしく遊ぼう	1歳～就学前児童をもつ親と子どもがリズム遊びや手遊び等で楽しく遊ぶ機会の提供を継続して実施します。	1歳から就学前の子どもと保護者対象に「親子でたのしく遊ぼう」を実施した。 開催回数 11回 参加者 保護者350人 子ども353人	男女共同参画の視点での子育て支援として取り組んでおり、今後も継続して実施する。	男女共同参画課	男女共同参画課
33	よちよちはいはい講座	6か月～1歳6か月児をもつ親と子どもがリズム遊びや手遊び等で楽しく遊ぶ機会の提供を継続して実施します。	6か月から1歳6か月の子どもと保護者対象に「よちよちはいはい講座」を実施した。 開催回数 2回、参加者 保護者70人 子ども40人	男女共同参画の視点での子育て支援として、取り組んでおり、今後も継続して実施する。	男女共同参画課	男女共同参画課
33	男女共生センターローズWAM「あそびの広場」<再掲>	親子で自由に遊べる場の提供を行い、子どもや親の交流の場として市民への周知を図ります。	平成19年度で廃止。	平成19年度で廃止。	男女共同参画課	男女共同参画課